



コベルコ建機株式会社 KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY CO., LTD.

東京本社：〒141-8626 東京都品川区北品川五丁目5番15号 ☎03-5789-2111
広島本社(広島工場)：〒731-5161 広島県広島市佐伯区五日市港二丁目2番1号 ☎082-943-5321
大久保工場：〒674-0063 兵庫県明石市大久保町八木740 ☎078-936-1331
大垣工場：〒503-0932 岐阜県大垣市本今町1682番地7 ☎0584-89-3104

グローバルサイト <https://www.kobelcocm-global.com/jp/>
日本エリアサイト <https://www.kobelco-kenki.co.jp/>

人と地球の未来を考える コベルコ建機グループ 社会環境報告書 2016

トップメッセージ

新生コベルコ建機始動

2016年4月1日、①経営の効率化と経営資源の有効活用 ②製品開発力の強化 ③グローバル展開力と対応力の強化 を目的に、コベルコ建機株式会社(ショベル事業)とコベルコクレーン株式会社(クレーン事業)は経営統合し、新生コベルコ建機株式会社が誕生しました。

ショベルの事業環境は、最大需要国である中国の大幅な需要減退と、その影響を受けた東南アジアなどの新興国の落ち込み、日米欧など先進国においても力強さに欠ける需要水準であり、総じて低調が続いています。一方でクレーンは、東京オリンピック関連施設、都市再開発などの旺盛な需要が続く日本やインフラ建設需要が続く北米など、日米欧の先進国と中東で堅調に推移する中、これまで市場を牽引してきた東南アジアが減速するなど、予断を許さない状況です。ショベルとクレーンで事業規模や保有技術などさまざまな違いがありますが、双方の強みを強化し、弱みを補完することにより、さらなる強い事業体へと変貌して参ります。

新中期経営計画2016-2020

本年度から2020年度までの新しい中期経営計画がスタートしました。低迷する中国や新興国への対応、稼働を開始した北米工場のスムーズな生産、大型クレーン事業の推進に向けた具体的な戦略の立案、国内においてはコベルコ建機が目指すICT技術の進展など具体的な課題が控えています。

中期経営方針は、①業界のチャレンジャーとして、「商品」と「ものづくり」さらに「流通・サービス」の差別化を推し進め、グローバル市場で成長し続ける ②建機ビジネスを通じて、新たな価値を創造し、豊かな社会の発展に寄与する を掲げました。この方針に沿って、2020年度までの新しい中期経営計画で具体化した課題を着実に取り組んでいきます。2016年度は、まずは経営統合効果を出すこと、ショベルとクレーンの強みを生かしたシナジー効果を出すことが重要な課題と捉えています。

価値ある活動を継続し、豊かな社会の発展に寄与する

コベルコ建機株式会社
代表取締役社長

榎木 一秀

社会から期待され必要とされる企業へ

CSR活動としてこれまで地域の方々や直接交流できる活動に取り組んで参りました。災害復興支援や事業所ごとの環境保全への取り組みなども行っています。また、我われが開発・生産する製品は低燃費や低騒音といった環境性能に優れた技術を搭載してきました。こうした各種の活動を通じて、豊かな社会の発展に寄与し、社会から期待され、必要とされる存在になりたいと考えています。

一つひとつの活動は小さなものから大きなものまでありますが、活動の大小が重要なのではなく、その活動にどれだけ価値があるのかが大事だと思います。その価値とは、社会に提供できる価値、社会から刺激を受けて自らが成長できる価値、互いに共感できる価値、信頼関係を構築できる価値、期待される価値、です。こうした価値ある活動を継続し、社会と相互に信頼関係を築き、互いが必要となることで、より良い豊かな社会の発展に寄与して参ります。2016年は新生コベルコ建機グループが誕生した年です。これからもコベルコ建機グループらしい活動を展開していきますので、どうぞご期待ください。

コベルコ建機グループの経営とCSR

コベルコ建機グループは、日々の企業活動を通じて、社会に価値を提供し、価値が社会に受け入れられることで生まれる好循環により、社会とともに成長していくことを目指しています。

中期経営方針と戦略

中期経営方針

- 業界のチャレンジャーとして、「商品」と「ものづくり」さらに「流通・サービス」の差別化を推し進め、グローバル市場で成長し続ける。
- 建機ビジネスを通じて、新たな価値を創造し、豊かな社会の発展に寄与する。

中期経営計画基本戦略

■ショベル事業の戦略

- ①欧米と次なる成長エリアでのプレゼンスを高め、世界におけるグローバルショベルメーカーとしての存在感を確立する。
- ②他社の追随を許さぬ差別化商品・サービス、ITを活用したソリューションを提供、「顧客」と「流通」から選ばれる企業体となる。
- ③いかなる事業環境変化にも追従でき、安定的に収益を確保できる強靱な事業基盤への進化を遂げる。

■クレーン事業の戦略

- ④安定収益確保に向けたオペレーションの質を向上する。
- ⑤事業の成長に向けた基盤を構築する。

■共通の戦略

- ⑥グローバル人材の効率的な育成とスピリットの浸透によるグローバル展開力を強化する。

CSR活動

コベルコ建機グループは、建設機械づくりの視点から、また企業としての立場から、人と地球にやさしい活動を続けています。CSR組織体制を整え、活動方針に従って、グループをあげてCSR活動に取り組んでいます。

CSR活動方針

- コベルコ建機グループは私たちならではの地球環境保全を行います。
- コベルコ建機グループは、地域社会への貢献と地域住民の方々との共存に努めます。
- コベルコ建機グループは、社員と共により良い未来の実現に向けて進んでいきます。

【人と地球の未来を考える、コベルコ建機グループのCSRメッセージ】

Message 1

コベルコ建機グループは、これまで環境問題に取り組んだなかで培ったノウハウを活かし、私たちならではの地球環境保全を行っています。

Message 2

コベルコ建機グループは、「人と地球の未来を考える」をコンセプトに、地域社会への貢献と地域住民の方々との共存に努めています。

Message 3

コベルコ建機グループの社員は、より良い未来の実現に向け、共に泣き、笑い、励まし合いながら進んでいくパートナーであり、大切な仲間です。

CONTENTS

- 01 ● トップメッセージ
- 02 ● コベルコ建機グループの経営とCSR
- 03 ● 特集I/経営統合
- 05 ● 環境保全活動報告
環境性能の開発と取り組み/
工場の取り組み
- 09 ● 特集II/KOBELCO FACE
- 11 ● 社会・地域活動報告
海外活動/国内活動
- 15 ● ステークホルダーとの関わり
お客さま・関係企業との調和/
職場づくり・人づくり
- 17 ● コンプライアンス/
コーポレートガバナンス
- 18 ● コベルコ建機グループの概要
編集後記

●報告書の対象に関して

- 【対象組織】 コベルコ建機株式会社および、グループ関連企業を対象としています。
- 【対象期間】 2015年4月1日～2016年3月31日
(一部2016年4月1日以降の情報を含む)
- 【報告書発行】 2016年8月

新生コベルコ建機始動!

2016年4月1日、コベルコ建機株式会社(ショベル事業)とコベルコクレーン株式会社(クレーン事業)が経営統合し新生コベルコ建機が誕生、始動しました。

ショベルとクレーン、互いの強みを強化し弱みを補完することによりさらなる強い事業体へと変貌し、業界のチャレンジャーとして成長を続けこれまで以上に豊かな社会の発展に寄与していきます。

3 グローバル展開力と対応力の強化

2 製品開発力の強化

1 経営の効率化と経営資源の有効活用

新生
コベルコ建機

経営統合

コベルコクレーン株式会社

コベルコ建機株式会社

企業理念

経営理念

コベルコ建機グループは、ユーザー現場主義に基づき、真に価値ある商品、サービス、情報を提供することで顧客の満足に応えるとともに、豊かな社会の建設に貢献する。

経営ビジョン

私たちは、人と環境にやさしい循環型社会創出のため、世界中のお客様に対し、創造的な“知と技”により、革新的ソリューションを提供いたします。このお客様価値の最大化活動を通じて、私たちは持続的成長を実現しグローバルトップブランドを目指します。

SPIRIT

『SPIRIT』とは、全世界のコベルコ建機グループ従業員を対象に、世代、国、地域を越えて共有される精神・価値観・行動規範です。



- SIMPLE** シンプルに考え、シンプルに動く。
- CHALLENGE** 全力を尽くし、果敢に挑む。
- SPEED** 変化に機敏に。判断を速やかに。
- PASSION** 困難に屈せず、情熱を燃やす。
- OPEN** 心を開き、未来を拓く。
- UNIQUE** 個性を極め、らしさを究める。
- COMMUNICATION** 共感し、心を動かす。
- INNOVATION** 価値を創り、変革を興す。

コンプライアンス

INTEGRITY 真摯な姿勢で

コンプライアンスは、全ての行動・理念の大前提です。そして、INTEGRITY(真摯)はコンプライアンスを実現するために最も重要な姿勢です。国や地域、会社や部署、取引先、一対一の関係においても、私たちは誠実を旨に、さまざまなルールとマナーを遵守しなければいけません。いかなる権力や圧力にも屈せず、高い倫理観と真摯な姿勢を持ち続けることが、スピリットを含む企業理念を体現するための基盤になります。理念を自分の信念に変え、一つひとつ実現していくこと。それこそが、私たちが目指す姿です。

環境保全活動報告

リードする環境技術で 環境保全に努める

ショベルとクレーン双方に高い環境性能を持つラインナップ。環境にやさしい建設現場を創造するだけでなく、事業サイクルのあらゆる段階で環境保全へ取り組んでいます。

次世代型油圧ショベル GENERATION10シリーズ

北米・欧州などで、すでに販売している20t～50tクラスのGENERATION10シリーズ。「低燃費、さらに高耐久」のコンセプトで開発された同シリーズは、従来機を上回る圧倒的な燃費技術により、最大10%の燃費改善を実現しました。また10年前の同クラスと比較すると、最大38%（※1）も改善しています。さらに機械の耐久寿命も向上させることで、地球上のどんな現場でも稼働できる「地球型建機」を全世界に展開していきます。

（※1）クラスによって数値は異なります。

最新の排出ガス規制値を クリアした新型エンジン

GENERATION10シリーズは性能の向上だけでなく、環境にやさしい機械です。機械に搭載している新型エンジン（※2）は温室効果ガス（CO₂）はもとより、排出ガスに含まれる有害物質も削減。温室効果ガスは従来に比べて8～10%、酸性雨などの原因になっていたNO_x（窒素酸化物）は約80%削減し、省エネとエコを両立させた、まさに次世代を担う新型油圧ショベルです。

（※2）国によって搭載するエンジンは異なります。



作業効率改善！Gウインチ

従来は、荷物を吊っていないときはエンジンの回転数が下がり、ウインチの速度が遅くなってしまいう課題がありました。Gウインチをオンにすると、エンジン回転数が低回転でも最高速度で巻上げ・巻下げを行うことが可能となり、省エネかつスピーディーな作業の両立が実現しました。

本格基礎土木仕様の ベースマシン BM1500G

昨今の建設業界において、より安全に、より大きな作業を行いたいというニーズが高まるなか、コベルコ建機グループは国内最大の基礎土木ベースマシンとしてBM1500Gを開発しました。基礎土木作業において重要視されるのは単純に最大吊り上げ荷重ではなく、作業半径8～15mでの吊り上げ能力やウインチ力です。最大吊り上げ荷重150tのクローラークレーンは他メーカーにも存在しますが、BM1500Gは上下部とも1クラス上の構造物を使用しているため、基礎土木実作業領域に関しては国内最大機種となります。主にビルや橋などの再開現場で活躍することが期待されています。

燃費向上とCO₂削減で 地球にやさしいクレーンを実現

オフロード法2011年規制適合エンジン搭載はもちろんのこと、独自開発の省エネシステムを搭載しました。AIS（オートアイドルストップ）機能は、クレーンを操作していない待機状態を検知し、一定の条件を満たすとカウントダウンを始め、10カウント後に自動でエンジンを停止、アクセルグリップを回せばすぐにエンジンがかかり、稼働再開します。待機中に無駄なエネルギーを使わない省エネ性能です。

Topics

港湾向けラチスブームホイールクレーン「MK650」 2015年度グッドデザイン賞を受賞

2014年5月に販売開始した、港湾向けラチスブームホイールクレーン「MK650」（最大吊り上げ荷重65t）が、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2015年度グッドデザイン賞」を受賞。運転席とエンジンルームの一体化デザインによって、従来に比べ輸送性や機動性を向上させたことが評価され、受賞に至りました。

当機種は、港湾用クレーンの老朽化や東日本大震災での影響を受け、海上輸送と港湾荷役を支え、安全性と環境面にも配慮したクレーンを目指しました。また船舶の大型化や、安全な作業のための能力向上、さらに港湾間移動の高速化を求める声に応えるため、港湾荷役作業に特化し、吊り上げ能力と機能、機動性を向上させたラチスブームホイールクレーンを開発。エンジンは排出ガス規制をクリアしており、環境保護にも努めています。



Topics

コベルコ「カーボン・オフセット」プログラムが 第5回カーボン・オフセット大賞の 農林水産大臣賞受賞！



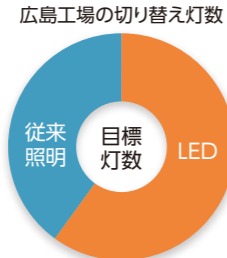
2015年12月に、「第5回カーボン・オフセット大賞」の農林水産大臣賞を受賞しました。コベルコ建機グループでは、地球温暖化防止や森林整備への貢献のため、2013年10月よりコベルコ独自の「カーボン・オフセット」プログラムを用意しています。本制度は、自らが排出する温室効果ガスをどうしても削減できない場合、その量の一部または全部をほかの場所で削減された温室効果ガスで埋め合わせ（オフセット）する仕組みのことで、さまざまな企業で利用いただいて環境保護へつなげています。この活動が評価され、建設機械メーカーとして初めて、「カーボン・オフセット大賞」の農林水産大臣賞を受賞しました。



工場の取り組み

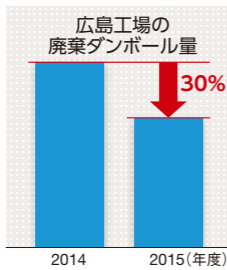
照明のLED化による電力消費量の削減

省エネ活動の推進の一環として、設備照明をLED電灯へ切り替える活動を各工場で行っています。従来の照明より消費する電力が削減されるとともに、1灯あたりの照度も高く作業環境の向上にも寄与するため、作業エリアごとに目標の照度を設定し切り替えを進めています。広島工場では、2015年度までに目標灯数の60%の切り替えが完了しました。



廃棄ダンボールの削減

廃棄物の削減活動の一環として、取引会社から納入される部品の梱包部材をダンボールからプラスチック製の専用パレットに変更して、廃棄するダンボールの量を削減する活動を各工場で行っています。広島工場では、専用パレットでの納入が可能な部品を選定し、取引会社に協力いただき、2015年度までにダンボールの廃棄重量を30%削減しました。2016年度も取引部品の専用パレット化を増やし活動を継続します。



販売会社・整備工場の環境確認調査

コベルコ建機グループ 環境管理事務局は、グループの販売会社サービス部による環境自主調査の結果を基に、改善が必要な拠点を半期ごとに選定し、環境確認調査を実施しています。2015年度はグループレンタル会社にも同様の調査を行いました。

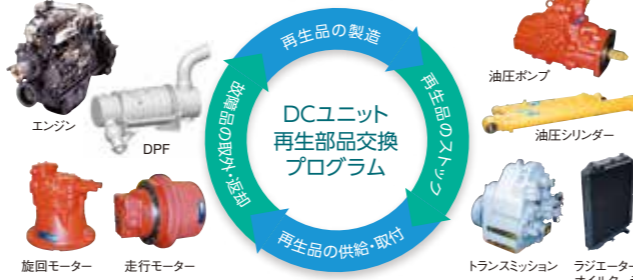
廃棄パレットの削減

廃棄パレットの引き取り施策を各工場で行っています。従来、廃棄処理していた木製パレットを運搬業者に引き渡し、リサイクルすることで、廃棄するパレットの量を削減しています。2015年度の大久保工場では、納入荷姿の改善やプラスチック製の専用パレット化も実施し、木製パレットを含めた木屑の発生量を前年度比で12%削減しました。



再生部品交換プログラム

エンジン・油圧ポンプ・油圧シリンダーなどの使用済み機器を新品同等の品質に再生して使用できる「DCユニット 再生部品交換プログラム」を推進しています。機器を再生することにより廃棄物削減や省資源に貢献できる上、費用的にも低価格での供給が可能となります。新たに排出ガス後処理装置 (DPF) などに加え、再生部品のラインナップを拡大しています。

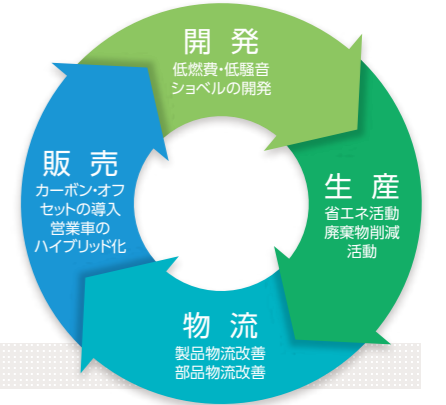


環境数値

事業活動に伴う排出量

コベルコ建機グループは、開発・生産・物流・販売の事業サイクルに合わせ、さまざまな環境保全活動を展開しています。工場ごとのCO2削減につながる省エネ活動や廃棄物削減などの取り組み、生産や開発においても低燃費などの環境性能を高めた製品づくりを進め、環境保全に努めています。

ここでは、2015年度の国内生産拠点における環境数値を紹介します。



広島工場

■大気

項目	設備	規制値	実測値
NOx	乾燥炉	230	6.8
ばいじん	乾燥炉	0.2	0.004
ダイオキシン類	該当なし	該当なし	—

■水質

項目	規制値	実測値(平均値)
COD	該当なし	—
SS	該当なし	—
油分	35	5.1
ダイオキシン類	該当なし	—

■化学物質

物質	排出量					移動量		主な使用工程、使用目的など
	大気	公共水域	土壌	所内埋立	下水道	工場外		
キシレン	80,000	0	0	0	0	29,000	塗装	
トルエン	8,000	0	0	0	0	9,000	塗装	
エチルベンゼン	33,600	0	0	0	0	3,400	塗装	

取扱物質総数 4

大久保工場

■大気

項目	設備	規制値	実測値
NOx	該当なし	該当なし	—
ばいじん	該当なし	該当なし	—
ダイオキシン類	該当なし	該当なし	—

■水質(下水道法)

項目	規制値	実測値(平均値)
COD	600	6.2
SS	600	22.2
油分	5	0.3
ダイオキシン類	該当なし	—

■化学物質

物質	排出量					移動量		主な使用工程、使用目的など
	大気	公共水域	土壌	所内埋立	下水道	工場外		
キシレン	105,000	0	0	0	0	0	塗装	
トルエン	57,000	0	0	0	0	0	塗装	
エチルベンゼン	7,900	0	0	0	0	0	塗装	

取扱物質総数 5

大垣工場

■大気

項目	設備	規制値	実測値
NOx	該当なし	該当なし	—
ばいじん	該当なし	該当なし	—
ダイオキシン類	該当なし	該当なし	—

■水質

項目	規制値	実測値(平均値)
COD	2,460	4.1
SS	40	6.0
油分	35	1.0
ダイオキシン類	該当なし	—

■化学物質

物質	排出量					移動量		主な使用工程、使用目的など
	大気	公共水域	土壌	所内埋立	下水道	工場外		
キシレン	26,000	0	0	0	0	6,000	塗装	
トルエン	14,000	0	0	0	0	3,000	塗装	
エチルベンゼン	21,000	0	0	0	0	5,000	塗装	

取扱物質総数 4

■大気データ
 ※規制値:大気汚染防止法、県条例、ダイオキシン類対策特別措置法 ※単位:NOxはppm、ばいじんはmg/Nm³、ダイオキシン類はng-TEQ/Nm³ ※規制値は、対象施設ごとに決められています。 ※表に記載されていない以下の項目はすべて定量限界値以下(検出されない)もしくは規制値以下。 硫酸酸化物、カドミウム、塩素、塩化水素、フッ素、フッ化水素、およびフッ化珪素、鉛、ベンゼン、トリクロロエチレン、ダイオキシン

■水質データ
 ※規制値:水質汚濁防止法、県条例、ダイオキシン類対策特別措置法もしくは下水道条例、協定値 ※単位:COD-SS-油分はmg/l、ダイオキシン類はpg-TEQ/l ※ND:分析定量限界値以下(検出されない) ※表に記載されていない以下の項目はすべて定量限界値以下(検出されない)もしくは規制値以下。 pH、BOD、全窒素、全リン、フェノール類、総クロム、溶解性鉄、溶解性マンガン、フッ素、銅、亜鉛、カドミウム、総シアン、有機リン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエチレン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロパン、チラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン

■化学物質
 ※単位:kg

Topics

グローバル展開が加速 北米新工場 Clean & Flexible を目指す 新時代の工場



2016年6月、コベルコ建機が米国サウスカロライナ州 スパータンパーグ郡で建設を進めていた油圧ショベルの新工場が本格稼働を開始しました。2013年より再参入した北米市場において、事業をさらに強化し、北米でのエリア対応をスピードアップさせることを目的としています。北米新工場は、コベルコ建機グループで5か国・7か所目の生産拠点となります。生産能力は年間1,800台、米国で最も需要が多く燃費性能に優れた20tクラスを中心に、徐々に生産台数と生産メニューを増やしていく予定です。

同工場は、コベルコ建機のマザー工場・五日市工場のコンセプト「Smart & Clean!」を引き継ぎ、「Clean & Flexible」をコンセプトに掲げました。品質管理の面でもクリーンを重視し、ダストの発生や侵入を抑える設備を随所に採用。また、採光窓の設置や壁面の色の工夫で、環境にも働く人にもクリーンでやさしい工場を目指しています。

また、工場敷地内に「デモセンター」を併設。セールスプロモーションの場面においても、フレキシブルな活用を目指しています。



開所式 テープカットの様子



開所式 生産一号機を囲んで集合写真



継続の活動も新しい活動計画も進行中! たくさんの人にコベルコを知ってほしい

CSR委員になって3年ですが、一人でも多くの人にコベルコを知ってもらいたいと意識しながら活動しています。中学生レスキューロボットチャレンジや小学校の理科の出前授業は何年も続けていて、ニュースなどで取り上げられる機会も増え、地域で少しずつ「コベルコ」が知られつつあるように感じています。今後は、大学と連携して、専門知識を持つ人向けの高度な教育プログラムの実施や、広く市民が参加できるよう博物館や科学館などでの出前授業の開催など、いろいろな準備を進めています。

私は総務グループ所属で、工場見学などは総務の業務でもあります。CSR活動とリンクするものも多く、業務上も役立っています。開発や製造など他部署の人脈も広がって、会社への理解も、愛情も深まりました! CSR活動をもっと盛り上げて社内の雰囲気をもっと良くしようと思います。CSR委員が主体となって、社員参加を促すような活動も計画したいです。

私にとってのCSR活動 **信頼感**

コベルコ建機(株) 企画本部 総務部 広島総務グループ
担当: 広島エリア
高橋 真由美 Mayumi Takahashi



理科の出前授業の様子

ACPとCSRが連携し 社内外で活動 社員が参加しやすい仕掛けづくりもしたい

社員同士の親睦を深めたり、安全で活気ある職場環境へ整えたりするACP (Action Project) のリーダーとして、親睦のBBQ大会や家族工場見学会などのイベントや安全講習などを企画運営しています。広い意味でCSRの一種でもあり、CSR委員と連携して社内外のCSR活動を推進しています。昨年度は、大垣十万石まつりで神輿を担ぎました。揖斐川の清掃にも毎年参加しています。きれいになるのも爽快ですし、黙々とゴミを集める作業は気持ちが集中して精神的にもいいものです。

ACPやCSRの活動を通じて、普段会えない人との交流やつながりができました。実際、業務でも助けてもらっています。部署を越えた人間関係が育つと会社も良くなり、働く人も楽しいと思います。CSR活動はその良いきっかけにもなると考えています。多くの人と関わることは自分を成長させてくれます。みんなが参加しやすい工夫もしていきたいですね。



大垣十万石まつりの様子

私にとってのCSR活動 **進化していく場所**

コベルコ建機(株) 生産本部大垣事業所 製造室
担当: 大垣エリア
松原 康幸 Yasuyuki Matsubara

特集Ⅱ KOBELCO FACE

各地でさまざまな活動を展開するコベルコのCSR。現場を支える社員が その魅力や思いを語ります。



実際に体験して達成感と心地よさを実感! CSR活動を社内で周知させ連携したい

CSR委員として引き継ぎ中で、まだ一度しか活動に関わっていませんが、神戸製鋼所主催のKOBELCOの森 森林整備に参加しました。社会的な意義はもちろん、体や心もリフレッシュできて、とてもいい経験でしたし、間伐が終わり森に太陽の光が差し込んだときは感動しました。当日の活動は、不要な木を切り倒して、さらに小さく切断する作業が中心でしたが、あらかじめ歩くところを確保して足場を整えたり、間引く木を決めて印をつけたり、安全確保や段取りよく進めるための整備が行き届いていました。運営側の準備の仕方についても、とても勉強になりました。

CSR委員になって初めて、営業所独自の地域イベントの参加や、ボランティア活動がたくさんあることを知り、地道な地域貢献をもっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。会社のCSR活動として社内外で一体感を築きながら、いろいろな取り組みをしたいと今、意欲に燃えています。

私にとってのCSR活動 **柔軟性が育めた**

西日本コベルコ建機(株) 業務部 総務・人事グループ
担当: 西日本エリア
大崎 恭子 Kyoko Osaki



KOBELCOの森 森林整備活動での工作の様子

地域で活躍する営業所の信頼感を実感! 目標は新しいアイデアで活動を盛り上げること

主に営業所からの提案で、いろいろな地域貢献を行っています。新しく企画したものは社外の人との連携や協力を得ないといけないものもたくさんありますが、それぞれの営業所の地域での信頼感の高さを感じています。

初めて小学校の校庭へショベルを持ち込んで「働く車」の特別授業をしたときは、丁寧な説明と交渉が必要でしたし、内容に関しては「楽しさ」と「危険」の両方を伝えることに苦労しました。小学校の先生対象の社会見学も行いました。取引先でも子どもでもなく、一般の大人向けというのは経験がなく、むずかしくもありましたが、同時に意義の大きさも感じました。今後も継続したい活動のひとつです。

営業所の人がとても頼もしく、リードしていただくことが多いのですが、私もアイデアを出して、CSR委員会主催で、社員みんなが参加できるようなイベントをやるのが今後の目標です。



地域の子ども向けイベントの様子

私にとってのCSR活動 **協調性が魅力**

東日本コベルコ建機(株) 業務管理部財務・管理グループ
担当: 東日本エリア
渡邊 忍 Shinobu Watanabe

社会・地域活動報告

直接交流をベースに 地域社会に貢献する

地域住民や地域社会と積極的に関わり
親しまれ、必要とされる企業を目指しています。
互いに理解を深め、成長することで
共存・共栄の未来を育んでいきます。

活動理念

コベルコ建機グループは、グローバル企業としてさまざまな地域で事業展開するなかで、事業を行うエリアに根ざした、地域密着型かつ継続的なCSR活動を推進しています。地域に親しまれながら、ともに成長することを大切に考えて、住民との交流や地域社会への貢献につながる活動に取り組み、そのため、従業員が自分で調べ、自ら活動に参加することを基本としています。活動を通して地域の特色や住民の思いを理解するとともに、コベルコ建機グループの担うべき役割について考える機会にもなっています。

また、地震などの大災害が発生した場合は、復興支援として義援金の提供や、現場に必要な建設機械の寄贈、オペレーターの派遣などを行っています。必要なこと、可能なことを、広い視野で検討し、人や社会に貢献できる活動を実施しています。

コベルコ建機グループが地域社会や住民にとって不可欠な存在となるよう、コツコツと活動を積み重ねています。

CSR基金と継続的活動

社会貢献活動をコベルコ建機グループとして支援・実践するため、2006年度に「CSR基金」を設立しました。「CSR基金」は、地域社会はもとより、社会全体への貢献活動も積極的に支援。人材育成や世界各地での教育支援など、多彩な活動を支えています。

対象となる活動は社内で公募。地域社会への貢献や地球環境の保全など、コベルコ建機グループのCSR活動としてふさわしい国内外の活動に対して資金援助を行い、継続的な活動となるようサポートしています。



Asia



海外活動 地域社会において 価値ある企業となるために

コベルコ建機グループは、グローバル企業としてさまざまなエリアで事業を展開し、その国・地域の発展や経済活動に関わっています。同時に、そこで暮らす人々にとっても価値ある企業でありたいと考え、地域社会への貢献や地域住民との交流を通じて相互理解を深め、地域社会との共存・共栄を目指しています。

1 地域支援センターへの支援 (フィリピン・マニラ)



マニラ市から南約70kmのタール湖畔にある地域支援センターの運営をCSR基金を通じてサポートしています。現地のディーラーがコツコツと支援を続けていたことが縁になり、コベルコ建機グループとして支援を継続しています。



2 アンコールワット復興を支える カンボジア人の育成(カンボジア・シェムリアップ)



遺跡建築や寺院の考古学発掘や研修を通じて地域の発展に寄与するもので、上智大学を通じて支援活動を行っています。地域の小学生を対象とした文化遺産教育なども実施し、人材育成・地域社会へ貢献した活動となっています。



3 森林保護活動 (マレーシア・パン)



広島大学を通じた支援活動で、保護林内の回廊やオイルパームプランテーションの維持・再生プロジェクトの運営費用の一部をCSR基金で負担。また現地での植樹イベントの開催など、現地の子どもたちへの人材育成活動も行っています。



4 工場感謝祭 (中国・杭州)

現地法人(HKCM, KPMH)で、従業員の家族を招き、工場見学や金魚すくい、粘土でショベルづくりなどを行いました。家族同士、従業員同士が互いに理解を深め、職場への愛着や、安全な職場環境づくりの意識を育むことができました。



5 近隣幼稚園への支援 (中国・杭州)

現地法人(HKCM, KPMH)は、地域交流・地域貢献を進める中で、近隣の幼稚園へ教育支援として文房具品などの寄付を行いました。地域の方々に親しまれ、子どもの成長とともに会社も成長していくことが大切と考えています。



6 慶興神鋼小学校への教育支援 (中国・成都)

四川大地震以降、現地法人3社(CKCMG, CKCM, CKCML)で支援を継続し、活発な交流をしています。6月の子どもの日には体育備品を寄付し、バレーボール大会に参加、9月の開学式には新入生にランドセルを寄贈しました。



コベルコ建機 CSR 詳しい活動内容は、WEBをご覧ください。
CSR 私達の社会貢献活動: <https://www.kobelcocm-global.com/jp/csr/society/>

国内活動

ともに暮らす仲間として 地域密着型の活動を続ける

地域に親しまれながら、ともに成長することを大切に考えて、地域振興イベントへの積極的な参加や子どもの教育支援、清掃美化活動、植林活動など多様な活動に取り組んできました。これからは従業員自身の活動で、より良い豊かな社会づくりへ貢献したいと考えています。

1 学校訪問活動 (北海道～神奈川)

毎年、北海道から神奈川県までの幼稚園や小学校を訪問し、働く機械の面白さやコベルコ建機グループの魅力を伝える活動をしています。人間vs機械で土を掘る競争や写生会などを行い、子どもたちの笑顔にやりがいを感じています。



2 どこでんいく隊 (福岡)



近隣の清掃活動や福祉施設への支援などを行っているボランティア団体「どこでんいく隊」の活動に参加するとともに、資金援助を行っています。地域との幅広い共存活動が評価され、2016年に厚生労働大臣賞を受賞しました。



3 社会貢献活動展 (東京)

品川区消費生活・社会貢献活動展に参加しました。「ゆたかな暮らしつなげる地域2016」と題し、2日間で93団体が出展。約2,700名もの来場があり、多くの交流の中で、コベルコ建機グループの魅力を知らせてもらえる機会となりました。



4 六甲山ECOWAYの森 森林整備活動 (兵庫)

神戸製鋼グループで活動している森林整備活動に毎年参加しています。2012年の森開きの後、定期的に間伐、除伐、植樹、自然観察会などを実施。自然の雄大さに触れながら、社会的意義とともに心身の心地よさを感じられました。



5 理科の出前事業 (広島)

小学生を対象に、油圧ショベルを題材にした「てんびんとてこ」の授業を2010年より継続して実施しています。ショベルのミニチュアや模型を用いて、バケツに分銅を乗せ、支点・力点・作用点などを体感してもらいました。



6 佐伯区民まつり (広島)

五日市工場の所在地である佐伯区のイベント、佐伯区民まつりに2012年から毎年参加しています。恒例のラジコンショベルを使ったお菓子釣りやぬり絵に加え、ミニショベルの試乗コーナーを新設し、子どもたちに大人気でした。



7 コベルコ建機カップ 中学生レスキューロボットチャレンジ (広島)



広島大学と共同で企画・運営しているコンテストが12回目を迎えました。創意工夫やチームワークに加え、機能や動きの「やさしさ」も重視しています。終了後の交流会では生徒たちが自慢の機械を見せ合い、大変盛り上がりしました。



8 HIRO学園 建機写生大会 (岐阜)

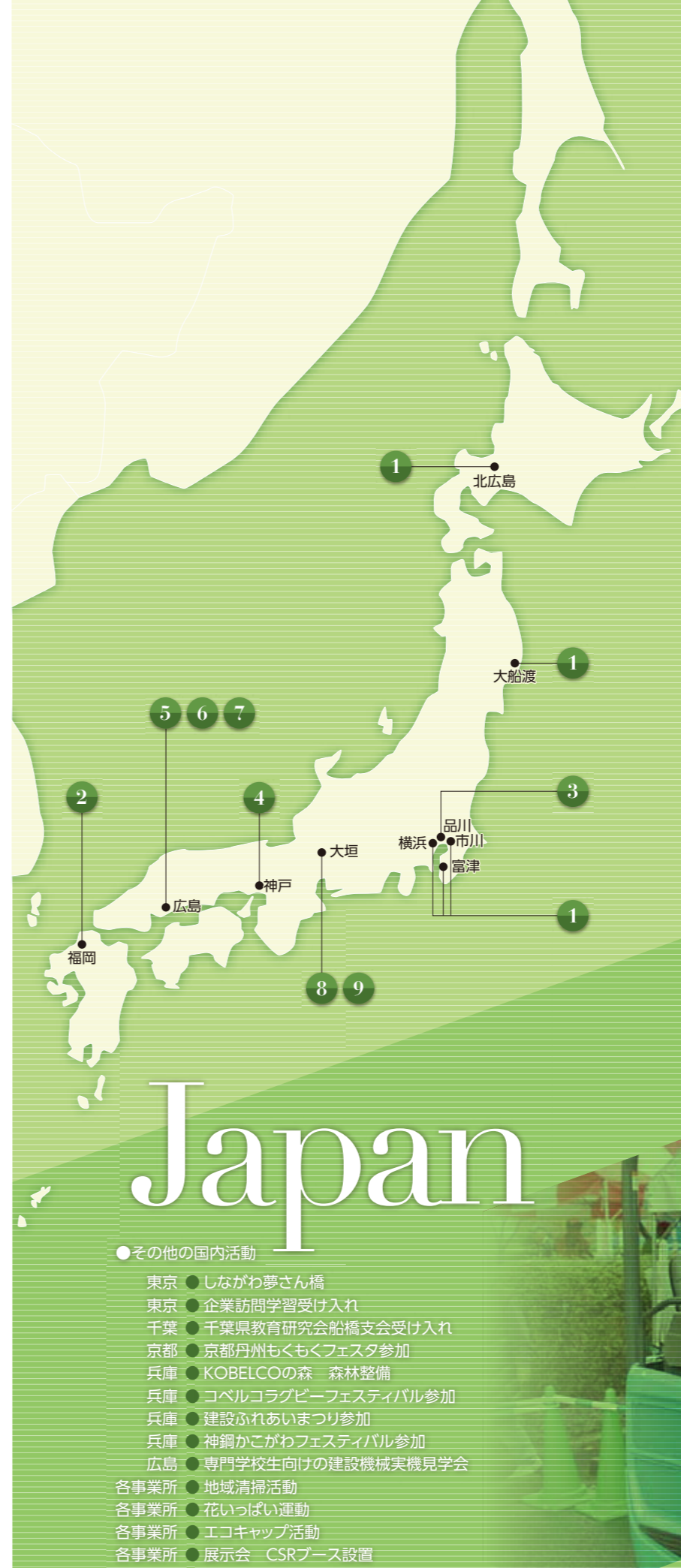


HIRO学園はブラジル人学校です。大垣事業所では毎年写生大会を実施し、2015年度も約30名を教習所に招きました。終了後は試乗会も実施し、子どもたちは初めて乗るショベルに興味津々で大喜び。絵は教習所に展示しています。



9 大垣十万石まつり (岐阜)

コベルコ建機・神鋼造機の合同で、毎年参加しています。メインイベントである企業神輿には4回目の参加となり、従業員と家族含めて120名が、神戸製鋼コベルコスティーラーズのマスコット「コーロクン」の神輿を担いで練り歩きました。



Japan

●その他の国内活動

- 東京 ● しながわ夢さん橋
- 東京 ● 企業訪問学習受け入れ
- 千葉 ● 千葉県教育研究会船橋支会受け入れ
- 京都 ● 京都丹州もくもくフェスタ参加
- 兵庫 ● KOBELCOの森 森林整備
- 兵庫 ● コベルコラグビーフェスティバル参加
- 兵庫 ● 建設ふれあいまつり参加
- 兵庫 ● 神鋼かこがわフェスティバル参加
- 広島 ● 専門学校生向けの建設機械実機見学会
- 各事業所 ● 地域清掃活動
- 各事業所 ● 花いっぱい運動
- 各事業所 ● エコキャップ活動
- 各事業所 ● 展示会 CSRブース設置

CSR賞制度

コベルコ建機グループでは毎年、グループ各社が実施した多彩なCSR活動の中で最も優れた活動に対して「CSR賞」を授与しています。選考基準は、事業エリアにおいて環境対応・地域貢献・人材育成などで顕著な功績をあげたこと、グループのブランドアップとなるような功績をあげたことなどで、毎年多くの活動がノミネートされます。賞の授与を通じて優れた活動を周知し、より多くの優れた活動が育つことを目指しています。

Topics

2015年度 CSR賞受賞 学校訪問活動

受賞者：東日本コベルコ建機(株)



東日本コベルコ建機は地域に根づいた企業を目指し、営業所のある地域で学校訪問活動を継続的に実施しています。機械に触れてもらいながら説明したり、機械と人間の仕事量の違いを体験したりして、建設機械の社会的役割を理解してもらっています。子どもたちの育成に貢献し、地域との信頼関係を構築する活動として広がりをみせていることを評価しCSR賞としました。

ステークホルダーとの関わり

多彩なサポート体制を整え 信頼を深め、技術を高める

情報共有やコミュニケーションの場を設け、業界全体の繁栄と関係企業の相互の発展を目指しています。また、ワークライフバランスに注目し、従業員が心地よく働ける環境や制度を整えています。

お客さま・関係企業との調和

コミュニケーションやセミナーなどの機会を設け、取引企業やお客さまと情報共有し、信頼を築いています。相互理解と切磋琢磨によって連携を強化し、ともに発展することを目指しています。

ディーラーミーティング

各国でコベルコ建機グループの製品を販売いただいているディーラーとの交流を図るため、ディーラーミーティングを本年度も実施しました。定期的に開催し、市場動向の情報提供をはじめ、多岐に渡る情報交換を行うことで強固な連携体制を構築し、コベルコブランドのさらなる発展を目指しています。2015年11月には北米のディーラー初の五日市工場の見学会を実施し、コベルコのものづくり力の品質の高さを実感していただきました。また2016年2月欧州エリアでは100名が参加し、大盛況となりました。



資源リサイクル会・森林セミナー

国内で資源リサイクルや林業に従事するお客さまに向けて、業界の最新情報を提供するセミナーを定期開催しています。今年度の資源リサイクル会では、「スクラップ市場のグローバル化」などをテーマに実施しました。森林セミナーでは、最新の林業機械を紹介するとともに、前衆議院議員・東国原英夫氏を招き、地方行政のあり方などを講演いただきました。両セミナーはコベルコ建機グループからの事業のヒントとなる情報発信の場として、また参加者同士の親睦を深める場として好評を博しています。



欧州「We Save You Fuel」Intermat 2015

2015年4月、Intermat 2015がフランスのパリ ノール見本市会場で開催され、欧州法人2社が共同でブースを出展。最新機種や欧州初披露の機械を展示し、多くの方に見ていただきました。また、「We Save You Fuel」（低燃費のコベルコ）をテーマに、燃費性能の良さを全面にアピールしました。Intermatは3年ごとに開催される世界3大建機展のひとつで、10回目の今年の出展数は1,410社。6日間で欧州・中東・アフリカを中心に168か国から18万3千人が訪れました。



生産連絡会

部品の供給元である取引先企業をはじめ、協力企業が一堂に会する生産連絡会を年2回、開催しています。今年度は168社373名が参加。事業環境・需要動向などについて、関係企業に理解を深めていただき、下期にはコベルコクレーンとの経営統合の検討について説明を行いました。懇親会は、コベルコ建機グループの経営陣との親睦の場でもあり、率直な意見をいただく良い機会にもなっています。



合同品質会議

グローバル品質の向上を目指す合同品質会議を五日市工場で毎年開催しています。10回目の今年度は5か国10拠点から約70名が参加。新機種の販売サポートや工程保証能力の強化、IoTを活用した予防保全活動などについて方針や提案が説明され、活発な意見交換が行われました。また前年度の品質向上活動で高い成果を上げた中国現地法人（成都）と広島事業所が「QUALITY AWARD」を受賞しました。



職場づくり・人づくり

従業員が心身ともに充実して高い成果を生み出せるように職場環境の整備と人材育成に注力しています。充実感を持ちながら仕事の責任を果たし、家庭や地域生活などの個人の生活も同時に充実できるようワークライフバランスへの取り組みや、世の中の変化に対応したダイバーシティの推進などを積極的に実施しています。また、人材育成制度や、社内活性化と技術力向上を促進する取り組みなどもあり、職場づくり、人づくりには特に力を注いでいます。

ワークライフバランス

業務を高度化して短時間で精度と質の高い成果を出すこと、同時に従業員個々人のプライベートと職務・業務の充実感をさらに向上させることを目的に、ワークスタイル変革活動に取り組んでいます。業務を効率化、高度化するためにはどうすれば良いか、プライベートが充実できる企業としての取り組みは何かを考え、実行しています。例えば、有給休暇を今よりもっと取得しやすくするための施策や、従業員の旅行や趣味を補助するカフェテリアプランなどがあります。今後も継続的に検討を行い、今よりもっと良くなるように取り組んでいきます。

ダイバーシティの推進

年齢・性別・国籍・性格・価値観が異なる多様な人材が活躍できる環境づくりとして、さまざまな取り組みを行っています。例えば、女性の活躍を促す取り組みとしては、女性メンバーのみの労使研究会「Kobelco Woman キラキラ Project」を設立。結婚、育児、配偶者の転勤、介護といった大事なライフイベントを迎える際、どのような制度や職場環境であれば、より働きやすいかという観点から議論を行っています。その内容も踏まえ、2016年4月から、「在宅勤務・短時間勤務制度」「保育所利用補助制度」「通勤方法優遇措置」などの導入や制度改革を行いました。また、女性総合職が将来のキャリアを見据えながら、「働きがい」「働きやすさ」などを議論する「キャリアデザインセッション」も実施し、女性がいきいきと働くことを強力にサポートしています。



人材育成

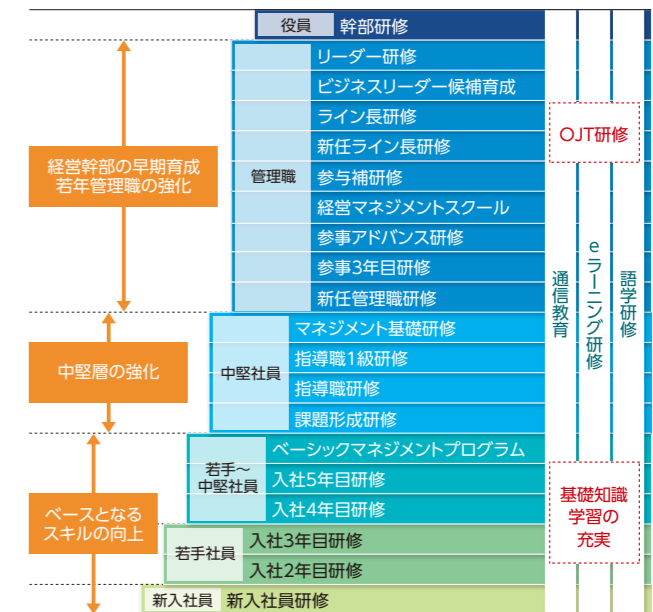
グローバル人材育成

事業のグローバル化が加速的に進む中、世界の競合他社に打ち勝つ力を持ち、グローバルに活躍できる人材を効率的かつ継続的に育成できる取り組みを行っています。語学力はもちろん、異文化理解やコミュニケーションスキルなど、グローバルにビジネスで活躍するために必要な知識やスキルを身につける研修を行う一方で、実際に若いうちから海外駐在を経験する機会を設けるなど、OFFJTとOJTの両面からグローバル人材の育成を推進しています。

階層別人材育成・行動能力診断

業績などの成果は全て行動から生み出されるという考えのもと、「行動能力」を軸とした人材育成体系を構築し、運営しています。定期的に個人の行動能力を測定することで、その結果を客観的に把握することができます。また、従業員の職位階層ごとにあるべき姿を定義し、必要な能力やスキルが身につけられるよう、段階的な目標や研修を設けています。早期に第一線で業務遂行ができるよう、充実した人材育成を行っています。

■新階層別研修体系



チャレンジャーの集い

開発部門を中心に、新しい業務や取り組み、日頃の開発業務の改善などチャレンジャーなテーマを持ち寄り報告しあう「チャレンジャーの集い」を行っています。これを通じて、社内の優れた取り組みや改善の多くが共有されるようになりました。最も優れた取り組みは表彰され、報告会の後には表彰式や祝賀会も行われます。企業にとっても重要なテーマである「チャレンジ」を切り口にした活動を取り上げ、共有・表彰することで、前向きに挑戦する意識や風土の醸成を加速し、競争力と持続的な成長力を持つ企業体づくりに努めています。



コンプライアンス／コーポレートガバナンス

企業の社会的な役割と責任を果たすとともに、企業価値を最大限に高めるため、グループ全体でのガバナンス体制を整え、倫理・法令遵守の徹底を図っています。

コンプライアンスへの取り組み

コベルコ建機グループでは、企業理念の追求や経営行動は全て、コンプライアンスを完遂してのみ社会的意義を有すると認識し、高い倫理観を持ち、常に「誠実で真摯な一貫性のある姿勢」【INTEGRITY】を堅持することを推進しています。

グローバルな事業展開に合わせて、国内と海外のグループ会社に向けてもコンプライアンス研修を実施しています。法律・社会習慣・取引慣行などが異なる現地の状況に合わせたPDCAサイクルを確立すべく取り組んでいます。

コンプライアンス委員会

コベルコ建機グループでは、企業活動における法令や倫理の遵守活動を高めるために、取締役会から独立した機関として、コンプライアンス委員会を設置しています。

コンプライアンス委員会設置の目的は、

- (1) リスク情報の収集を通じてリスクの顕在化・拡大を未然に防止する。
- (2) 事案発生時の対応策・改善策の策定、および取締役会への勧告を行う。
- (3) 不祥事等の再発防止に向けプログラムを策定する。

INTEGRITY 真摯な姿勢で

コベルコ建機グループは、国や地域、会社や部署、取引先、個人などのいかなる関係においても、コンプライアンスを遂行するためにINTEGRITY（真摯）を最も重要視します。いかなる権力や圧力にも屈することなく、高い倫理観と真摯な姿勢を持ち続けるため、従業員一人ひとりが「あるべき姿は何か」を考え行動できる、企業風土の醸成に努めています。

Topics

コンプライアンス研修 ～海外での取り組み～

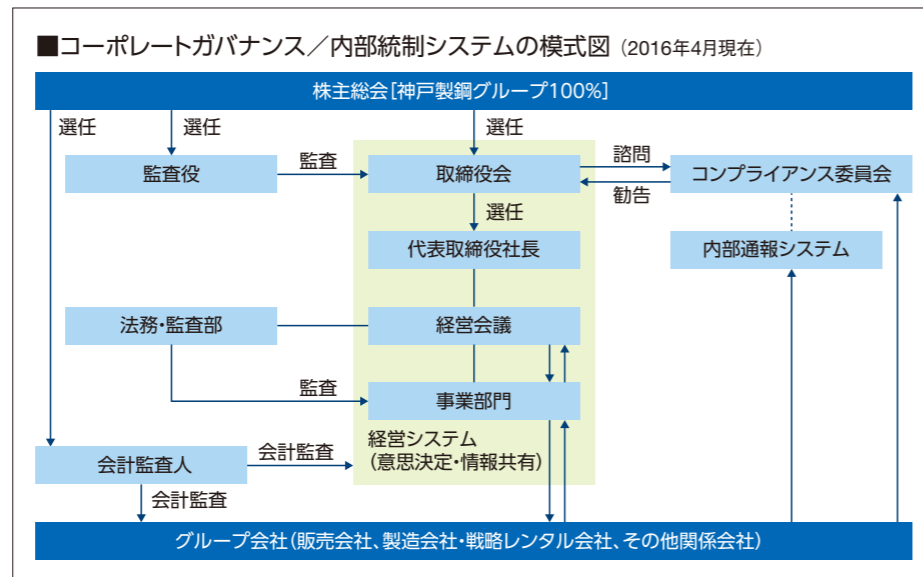
2015年度は中国、東南アジア、オーストラリアなど9か国15拠点においてコンプライアンス研修を実施しました。とりわけインドネシアでは、現地の根強い取引慣行があるため、現地従業員の理解がより深まるよう、コンプライアンス違反に該当する具体的な事例を交えながら、インドネシア語による説明を行いました。このほか、中国においても中国語によるコンプライアンス研修を実施するなど、海外における取り組みを強化しています。



オーストラリアでの研修の様子

コーポレートガバナンス体制

コベルコ建機グループは、企業価値の向上に向けて、より透明性の高い公正で効率的な経営の実現と、業務執行における迅速かつ確かな意思決定を目的に、コーポレートガバナンス体制を構築しています。また、企業としての浄化作用を促進し、健全な企業風土を維持するための仕組みとして、外部弁護士を受付窓口とする「内部通報システム」を設置。早期に事実および原因を客観的に把握し、遅滞なく合理的な対策を講ずることに努めています。



コベルコ建機グループの概要

●会社概要

会社名 コベルコ建機株式会社
 英文社名 KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY CO.,LTD.
 創立 1999年(平成11年)10月1日
 事業所所在地 □東京本社
 〒141-8626 東京都品川区北品川五丁目5番15号
 TEL: 03-5789-2111
 □広島本社／広島工場
 〒731-5161 広島県広島市佐伯区五日市港二丁目2番1号
 TEL: 082-943-5321
 □大久保工場
 〒674-0063 兵庫県明石市大久保町八木740
 TEL: 078-936-1331
 □大垣工場
 〒503-0932 岐阜県大垣市本今町1682番地7
 TEL: 0584-89-3104
 U R L グローバルサイト
<https://www.kobelcocm-global.com/jp/>
 日本エリアサイト
<https://www.kobelco-kenki.co.jp/>
 資本金 160億円
 代表取締役社長 植木 一秀 (ならき かずひで)
 事業内容 建設機械、運搬機械の製造、販売並びにサービス
 従業員数 1,669名(グループトータル6,607名)[2016年4月1日時点]
 売上高 3,446億円
 (2015年度 コベルコ建機(株)、コベルコクレーン(株)の2社連結合計)

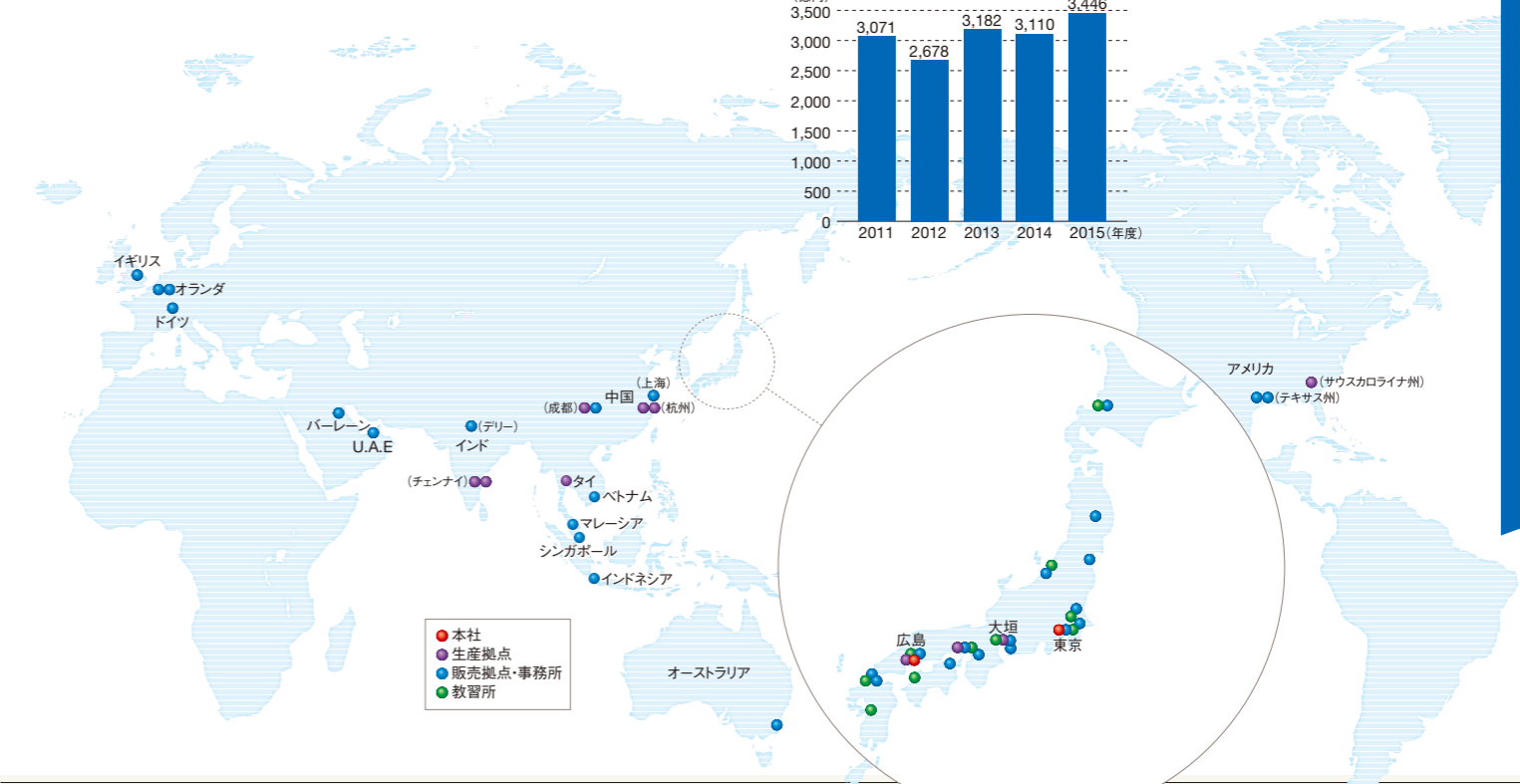
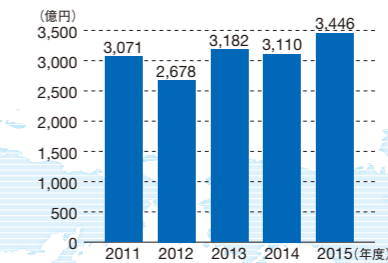
●国内の主な関係会社

東日本コベルコ建機(株)、西日本コベルコ建機(株)、コベルコ建機エンジニアリング(株)、コベルコ建機インターナショナルトレーディング(株)、コベルコクレーントレーディング(株)、コベルコ教習所(株)、中村リース(株)、(株)常南、(株)ササイ、トーヨースギウエ(株)、(株)ワイズヨシハラ

●海外の主な関係会社

成都神鋼工程機械(集団)有限公司(中国)、成都神鋼建設機械有限公司(中国)
 成都神鋼建機融資租賃有限公司(中国)、杭州神鋼建設機械有限公司(中国)
 神鋼建機精密機械(杭州)有限公司(中国)、神鋼起重機(上海)有限公司(中国)
 KOBELCO INTERNATIONAL (S) CO., PTE. LTD.(シンガポール)
 KOBELCO CRANES SOUTH EAST ASIA PTE. LTD.(シンガポール)
 RICON PRIVATE LIMITED(シンガポール)
 PT. DAYA KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY INDONESIA(インドネシア)
 KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア)
 KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY VIETNAM CO., LTD.(ベトナム)
 THAI KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY LTD.(タイ)
 KOBELCO CONSTRUCTION EQUIPMENT INDIA PVT. LTD.(インド)
 KOBELCO CRANES INDIA PVT. LTD.(インド)
 KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY AUSTRALIA PTY. LTD.(オーストラリア)
 KOBELCO CRANES MIDDLE EAST FZE.(U.A.E.)
 KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC.(アメリカ)
 KOBELCO CRANES NORTH AMERICA INC.(アメリカ)
 KOBELCO CRANES EUROPE LTD.(イギリス)
 KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V.(オランダ)

●売上高の推移(連結)



編集後記

地域社会とWin-Winで歩みたい

CSR推進グループ グループ長 宮尾 卓司
 9月に開幕したラグビーのワールドカップで、日本が歴史的な勝利を挙げ、大きな盛り上がりを見せた年でした。当社グループのCSR活動には勝負はありませんが、地域社会とWin-Winの関係を築き、お互いがより良いパートナーとなってその地域を盛り上げ、豊かな社会に向かって活動していきたいと考えています。

意見を出し合ってより良い活動に

CSR推進グループ 高松 佳代
 地域のイベントに参加して、建機にふれる子どもたちのキラキラした表情にとっても感動しました。年齢問わず社員がアイデアを出しながら、地域イベントや人材育成などの活動を進めるところが、コベルコ建機グループの良さだと感じています。これからも事業地域のみならず喜んでいただける活動を続けていきたいです。

CSR活動は新発見の連続

CSR推進グループ 柏原 宏祐
 本報告書の制作から携わることになりました。普段は、製品の販促活動に関する仕事が多いのですが、CSRでは環境保護、社会への取り組みがテーマであるため、違った視点から会社を見ることができ、新たな発見続きでした。そんな発見が1冊にまとまっていますので、ぜひ手に取ってご覧いただければと思います。